

# 済額の減少を評価!!



高波バイパスアクセス第2号計画道路開通

第3回定例会は、9月2日から18日までの17日間の会期で開かれました。一般質問には、5人の議員が登壇し、防災対策、村有地における鉄鋼スラグ除去対策、交通弱者対策、安全な飲料水の確保等について質問しました。また、平成30年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定、発委、報告及び令和元年度一般会計・特別会計補正予算の議案は、原案のとおり可決・認定しました。



議会で監査報告をした  
岩崎唯雄  
代表監査委員

## 村民の満足度が高まる施策を

### ▼村税の収入率向上

一般会計の歳入決算額の28・03%を占める村税の収入率は、前年度に比べ2・41ポイント向上しました。収納対策等が大きな成果を上げており、その取り組みを大いに評価します。税務課が実施しているクレーム対応研修は他の手本となる取り組みです。他の所属においても活用が可能か検討してください。

### ▼収入額の低調

住宅使用料及びエネルギー・地域力循環事業補助金返還金は、収入未済額が増加しています。現在の徴

収の取り組みを再点検し、収入未済額の解消に取り組んでください。

### ▼歳出の減少

歳出は前年度に比べ減少しています。ふるさと納税については、寄附額に対する返礼割合が5割から3割に下がったことが減少の要因になっています。厳しい財政状況が続く中、効果的かつ効率的な事業執行に努め、より健全な財政運営を図ってください。

### ▼財源の有効活用

不用額については、減少となっています。抽出審査の結果、やむを得ない事案

であると認めます。さらに精度の高い予算編成と計画的な予算執行に努め、不用額が明らかになった場合は、速やかに補正処置を行うなど適切な対応を図り、財源の有効活用に努めてください。

### ▼今後の財政運営

社会・経済情勢を敏感に感じとり、その変化を的確に把握しながら、第6次榛東村総合計画が示す「子どもに夢を、みんなに福祉と安心を」を実現すべく、村民の満足度が高まるような施策が展開されることを要望します。

**決算  
認定**  
平成30年度

# 村税の収入未

## 平成30年度の主な事業

区 分	内 容	決 算 額
民 生 費	障害者福祉サービス費等負担金、学童保育(指定管理委託料)など	19億2668万円
総 務 費	ふれあい館源泉ポンプ更新工事、バス運行費負担金など	7億3304万円
教 育 費	中学校防災無線LAN設置工事、村民プール解体工事など	6億7484万円
農林水産業費	農業用水施設改修工事、創造の森給水施設など	3億9002万円
土 木 費	村道維持補修工事、除雪重機使用料、ふるさと公園遊具修繕工事など	5億4006万円
衛 生 費	住民健診、母子保健事業など	3億 433万円
消 防 費	消防施設、渋川地区広域市町村圏振興整備組合負担金など	2億4603万円
議 会 費	印刷製本費、会議録委託、議員共済会負担金など	9208万円

※万円未満は、四捨五入

### 決算審査特別委員会の設置

9月3日、平成30年度一般会計歳入歳出決算の認定については、決算審査特別委員会に付託されました。特別会計等歳入歳出決算については、総務産業建設常任委員会並びに文教厚生常任委員会に付託されました。

決算審査特別委員会 委員長……清水健一

副委員長……川田敏彦

### 決算認定制度の意義

#### 一次的意義

予算執行の結果を総合的に確認し、検証して**予算効果と行政効果**を客観的に判断する。この間、反省事項や改善事項をまとめる。村長はその後の予算編成と財政運営に活かし、議会は予算審議と財政運営の批判と指導に役立てる。

#### 二次的意義

決算を認定することにより、村長の執行責任を村民に向かつて解除する。

#### 三次的意義

決算審査を行う議会を通じて村の財政の実態を知らせて理解を得る。  
(出典…議員必携)



教室や体育館でもネット利用が可能